

2021年7月5日

調査室

今週の株式相場見通し

* 日経平均 27,800~29,500円 TOPIX 1,890~1,970

* 期待材料 国内のワクチン接種の加速 原材料価格の上昇一服 小売り企業の好決算

* 不安材料 新型コロナデルタ型の感染拡大 米国の雇用回復ペースの過度な加速

想定外の物価上昇が示された5月のCPIショックをピークに、NY市場は景気敏感株が弱含む一方で、比較的バリュエーションが高いとされるハイテク株が買われる動きとなり、6月月間ではS&P500が5ヵ月連続で上昇、ナスダックも値上がりし最高値を更新したが、景気敏感株が比較的多く含まれるNYダウは小幅下落となった。市場は金融緩和縮小前倒しに対する警戒感に対し、バイデン大統領のインフラ投資計画やワクチン接種の進捗による経済正常化期待の綱引きとなり、高値圏ながらも膠着感のある展開が続いていた。そこで注目されているのが7月2日に発表予定の米6月雇用統計だ。市場予想より強い数字となれば緩和縮小が前倒しになる懸念へと繋がり、予想より弱い数字となれば景気回復期待が萎むことから、現在の適温相場を継続するには、強すぎないが着実な労働市場の回復を示す内容が求められる。ただし、5月のCPIショックから、6月発表の5月CPIやFOMC(連邦公開市場委員会)などを経て1ヵ月以上揉みあいが続けており、市場はある程度の緩和縮小懸念は織り込んでいる可能性もある。逆に9月末までの議会通過を目指すバイデン大統領のインフラ投資計画は米上院の超党派議員と合意したが、法案成立にはまだ紆余曲折があると思われる。また、インドネシアでコロナ感染が急増し「緊急措置」を発動する方針が示されるなど、アジアでのコロナ感染拡大に加え、欧州でも感染再拡大の兆しが出ており、警戒感が広がっている。

日本では五輪開催に向けワクチン接種が首相の目標とする1日100万人を超えての進捗となっているが、足元では感染者が再拡大傾向であり、こちらも警戒感がある。こうした状況を映し日経平均は高値を切り下げながら、三角持ち合いの展開となり米国市場以上に膠着感が増している。小売りなどの2月期決算企業の決算発表が始まり個別の物色はあるものの、今月末から本格化する決算発表を前に手控えムードとなっている。米雇用統計後の動きには注意が必要だが、しばらくは個別物色の短期的相場になるものと思われる。(7月1日現在 志田 憲太郎)

今週の予定

	国内	海外
7/5 (月)	ネクステージ(3186)2Q決算 薬王堂HD(7679)1Q決算 アークス(9948)1Q決算	[米]アマゾン・ドット・コム of 創業者で CEO のジェフ・ベゾス氏が退任 [米]休場(独立記念日の振り替え)
6(火)	サンエー(2659)1Q決算 キューピー(2809)2Q決算	[欧]7月ZEW景気期待指数(18:00) [米]6月ISM非製造業景況指数(23:00)
7(水)	5月景気動向指数速報値(14:00)	[米]6月FOMC議事要旨
8(木)	6月景気ウォッチャー調査(14:00) セブン&アイHD(3382)1Q決算	[メキシコ]6月消費者物価指数(20:00) [ブラジル]6月IBGE消費者物価指数(21:00)
9(金)	マイナーSQ ビックカメラ(3048)3Q決算 安川電機(6506)1Q決算	[中]6月消費者物価指数(10:30) [中]6月生産者物価指数(10:30) [伊]G20財務相・中央銀行総裁会議(~10日)
10(土)	ウルトラマンの日	[パハマ]独立記念日
11(日)	セブン-イレブンの日	世界人口デー

出所はロイター、ブルームバーグ、新聞各紙等より、時刻は日本時間(予定)

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

今週の参考銘柄 **ディスコ** (6146) 東証1部



	20年03月期 (百万円)	前年比	21年03月期 (百万円)	前年比	22年03月期(予) (百万円)	前年比	株価(7/1)	34,350 円
売上収益	141,083	-	182,857	29.6%	-	-	業種	機械
営業利益	36,451	-	53,106	45.7%	-	-	時価総額	12,388 億円
経常利益	38,314	-	53,629	40.0%	-	-	PER(予想)	28.80 倍
当期純利益	27,653	-	39,091	41.4%	-	-	PBR(実績)	4.93 倍
EPS(円)	769.56	-	1085.47	-	-	-	ROE(実績)	16.40 %
配当金(円)	438	-	677	-	-	-	配当利回り(予想)	1.97 %

担当 松本 直志

出所: 業績に関する数値は決算短信より

切る、削る、磨く技術に注力し、半導体の基板となるシリコンウエハなどの切断装置、研削装置(薄く削る装置)で世界シェア1位。切断装置は主にウエハ上に回路を形成した後、チップに切り分けるときに使用されている。半導体は2~3ヵ月かけて回路の形成を行うため、最終工程でのミスは許されず、高い加工精度と信頼性を強みに高シェアを確保している。研削装置は主にウエハを薄く削る際に使用され、半導体の高機能化・薄化が進むにつれて、より高い平坦度が求められており、透けるほど薄い5マイクロメートル程度まで薄く加工する技術を持っている。半導体の性能向上のために、薄くした半導体チップを複数積み重ねる立体化の手法が導入されつつあり、高性能な切断装置や研削装置に対する需要増大が期待されている。21年3月期の製品群別売上構成比率は、精密加工装置(切断、研削装置など)が52%、精密加工ツール(替え刃や砥石など消耗品)が25%、部品10%、産業用研削製品事業1%、周辺機器などその他が12%になっている。

21年3月期通期決算は前年同期比29.6%増収、45.7%営業増益となり売上、営業利益ともに過去最高を更新。半導体不足に伴い切断装置、研削装置ともに量産向けの引き合いが強く、幅広い用途で需要が旺盛だった。顧客の設備稼働率も高く、精密加工ツールは2年連続で出荷額が過去最高を更新した。6月14日に4-6月期(1Q)業績の進捗説明会を開催し下記の通り説明。台湾、中国を中心に各国で量産向けの引き合いが引き続き強く、精密加工装置に対する需要が高水準で推移。スマホなど5G関連や民生品、産業向け、自動車など幅広い用途で顧客の投資意欲が旺盛で、工場はフル稼働を継続。顧客工場の稼働率が高く、精密加工ツールの需要も高水準で推移。引き合いから装置の出荷まで半年程度かかるため、キャンセルがなければ年末くらいまで繁忙状態が続く見込み。足元も高水準の引き合いが続いており、業績は今後も堅調に推移すると思われる。

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願ひ致します。

特集 銘柄スクリーニング(対象：東証1部以外)

銘柄コード	銘柄名	市場	株価(7/1)	今期			来期			
				決算期年/月	経常利益(会社) [百万円]	経常利益(東洋経済) [百万円]	乖離率 東洋経済予想と会社予想	決算期年/月	経常利益(東洋経済) [百万円]	増益率 東洋経済予想
3416	ピクスタ	東マ	1,080	21/12	1	25	2400.0%	22/12	30	20.0%
4760	ALPHA	東JQ	1,555	21/8	10	220	2100.0%	22/8	240	9.1%
6898	トミタ電機	東JQ	1,500	22/1	11	50	354.5%	23/1	70	40.0%
1743	コーアツ工業(注2)	東2	4,900	21/9	303	1,150	279.5%	22/9	1,200	4.3%
1897	金下建(注2)	東2	3,675	21/12	170	600	252.9%	22/12	650	8.3%
6303	ササクラ	東2	2,633	22/3	150	500	233.3%	23/3	600	20.0%
5965	フジマック	東2	795	21/12	278	650	133.8%	22/12	750	15.4%
1795	マサル	東JQ	3,295	21/9	170	390	129.4%	22/9	500	28.2%
4673	川崎地質	東JQ	2,741	21/11	250	530	112.0%	22/11	550	3.8%
1783	アジアGHD	東JQ	48	21/9	87	180	106.9%	22/9	280	55.6%
3497	LeTech	東マ	1,337	21/7	290	600	106.9%	22/7	700	16.7%
3058	三洋堂HD	東JQ	921	22/3	200	400	100.0%	23/3	450	12.5%
3187	サンワカンパ	東マ	391	21/9	95	190	100.0%	22/9	220	15.8%
7273	イクヨ	東2	1,322	22/3	110	220	100.0%	23/3	290	31.8%
4243	ニックス	東JQ	858	21/9	103	200	94.2%	22/9	250	25.0%
9233	アジア航	東2	897	21/9	1,525	2,900	90.2%	22/9	3,000	3.4%
4124	大阪油化	東JQ	3,035	21/9	85	160	88.2%	22/9	200	25.0%
6867	リーダー電子	東JQ	705	22/3	110	200	81.8%	23/3	300	50.0%
4616	川上塗	東2	1,327	21/11	58	100	72.4%	22/11	150	50.0%
6694	ズーム	東JQ	3,910	21/12	700	1,200	71.4%	22/12	1,300	8.3%
2736	フェスタリア	東JQ	1,714	21/8	240	400	66.7%	22/8	420	5.0%
7093	アディッシュ(注1)	東マ	1,500	21/12	30	50	66.7%	22/12	90	80.0%
7847	グラフィイト	東JQ	599	22/2	156	260	66.7%	23/2	270	3.8%
7855	カーディナル	東JQ	545	22/3	3	5	66.7%	23/3	10	100.0%
6400	不二精機	東JQ	659	21/12	403	670	66.3%	22/12	720	7.5%
6563	みらいWKS	東マ	1,079	21/9	121	200	65.3%	22/9	300	50.0%
3695	GMO-R	東マ	2,448	21/12	265	430	62.3%	22/12	440	2.3%
2788	アップル	東2	309	21/12	370	600	62.2%	22/12	650	8.3%
6030	アドベンチャ	東マ	7,410	21/6	650	1,050	61.5%	22/6	1,550	47.6%
2436	共同PR	東JQ	892	21/12	200	320	60.0%	22/12	340	6.3%
7928	旭化学	東JQ	1,194	21/8	430	680	58.1%	22/8	800	17.6%
4933	Ine	東マ	5,560	21/12	1,600	2,530	58.1%	22/12	2,550	0.8%
1788	三東工業	東JQ	2,431	21/6	140	220	57.1%	22/6	240	9.1%
4421	DIシステム	東JQ	1,109	21/9	180	280	55.6%	22/9	330	17.9%
6663	太洋工業	東JQ	539	21/12	71	110	54.9%	22/12	120	9.1%
5699	イボキン	東JQ	3,670	21/12	582	900	54.6%	22/12	920	2.2%
2195	アマタHD	東JQ	2,816	21/12	188	290	54.3%	22/12	350	20.7%
3439	三ツ知	東JQ	2,250	21/6	312	480	53.8%	22/6	720	50.0%
3991	ウォンテッド(注1)	東マ	2,745	21/8	150	230	53.3%	22/8	380	65.2%
6360	東自機	東2	1,733	22/3	300	460	53.3%	23/3	700	52.2%
2160	ジーエヌアイ	東マ	2,069	21/12	1,180	1,800	52.5%	22/12	2,100	16.7%
7807	幸和製	東JQ	879	22/2	236	360	52.5%	23/2	400	11.1%
5983	イワブチ	東JQ	5,870	22/3	340	510	50.0%	23/3	530	3.9%
7078	INC	東マ	1,289	22/3	40	60	50.0%	23/3	100	66.7%
4335	IPS	東JQ	974	21/6	250	370	48.0%	22/6	400	8.1%
4754	トスネット	東JQ	932	21/9	520	760	46.2%	22/9	800	5.3%
7957	フジコピアン(注2)	東2	1,600	21/12	180	260	44.4%	22/12	340	30.8%
4885	室町ケミカル	東JQ	1,382	21/5	301	430	42.9%	22/5	500	16.3%
7064	ハウテレ	東マ	1,886	22/1	7	10	42.9%	23/1	300	2900.0%
7352	Bエンジニア	東マ	1,492	21/8	70	100	42.9%	22/8	260	160.0%

* 会社四季報夏号の発売に伴い、東証1部上場以外の企業を対象に、今期経常利益予想について東洋経済予想が会社発表予想を上回っており、東洋経済予想が来期についても増益予想となっている企業について7/1に検索したところ394銘柄が該当した。その中から今期経常利益予想について会社発表を東洋経済が上回る企業の乖離率上位50社を掲載している。なお、銘柄名の横に(注1)のついた銘柄の会社予想経常利益については、上限予想と下限の中間値を掲載しており、(※注2)のついた銘柄の株価は、7/1現在の基準値を記載している。

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

いつもあなたのそばで 頼れる金融機関です

やまわ

■ ■ ■ 山和証券店舗網 ■ ■ ■

本店営業部	(03) 3668-5412	〒103-0026	中央区日本橋兜町 1-8
金町支店	(03) 3600-6681	〒125-0041	葛飾区東金町 1-22-9
高円寺支店	(03) 3311-1171	〒166-0003	杉並区高円寺南 3-58-25
大岡山支店	(03) 5754-5523	〒145-0062	大田区北千束 3-28-1 パークホームズ大岡山ラヴィアンコート 1F
巣鴨支店	(03) 3918-6311	〒170-0002	豊島区巣鴨 3-33-2
上板橋支店	(03) 3935-0311	〒174-0071	板橋区常盤台 4-22-12
深川支店	(03) 5600-7891	〒135-0005	江東区高橋 11-1
茂原支店	(0475) 25-1151	〒297-0023	茂原市千代田町 1-6 茂原サンヴェルプラザ 1F



○金融商品取引法に基づく表示事項

◇商号：山和証券株式会社 金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第190号

加入協会：日本証券業協会

◇ご投資にかかる手数料の概要およびリスクについて

- ・国内上場株式等を購入する場合は、約定代金に対して最大1.1990% (ただし約定代金230,000円以下の場合は最大2,750円)の委託手数料をいただきます。
- ・国内上場株式等は、価格の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、発行会社の信用状況の悪化等により投資元本を割り込むおそれがあります。商品ごとに手数料等及びリスクは異なりますので当該商品の契約締結前交付書面をよくお読みください。

○山和証券免責事項

- ・本アナリストレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたものであり、特定の有価証券の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断と責任でおねがいします。
- ・本アナリストレポートの全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

発行 山和証券調査室